

人 ピープル



救急医療功労者で大臣表彰
生方 璋さん(71) 表町二丁目

命を助けるために全力を尽くす

厚生労働省の救急医療功労者に選ばれ、先月九日の「救急の日」に東京都内で大臣表彰を受けた。これは地

域救急医療の確保、救急医療対策の推進に、多年にわたり貢献した団体や個人へ贈られるもの。本年度の表

「医師会の仕事をしていると何かと忙しくて、往診が朝や夜間になっ

てしまうこともたびたび。自分の時間もなかなか取れないけれど、釣

彰者は全国で十三団体、二十二団体。わたし以外にも頑張っている人はたくさんいるように。思いがけず表彰の栄に浴したのですが、これまで、医師として当たり前のことをしてきただけです」

「医師会の仕事をしていると何かと忙しくて、往診が朝や夜間になっ

てしまうこともたびたび。自分の時間もなかなか取れないけれど、釣

「わたし以外にも頑張っている人はたくさんいるように。思いがけず表彰の栄に浴したのですが、これまで、医師として当たり前のことをしてきただけです」

九月七日、若宮小体育館で同地区三世代交流集會が開かれました。児童や保護者、地元のお年寄りら百人が参加。地域との触れ合いを大切に

九月七日、若宮小体育館で同地区三世代交流集會が開かれました。児童や保護者、地元のお年寄りら百人が参加。地域との触れ合いを大切に



最後は、お年寄りの指導を受けながらスマイルボウリング。子どもたちは、真剣な表情でボールを転がしていました。

Pick up ぴっくあつぷ

救命手当ての方法学ぶ

九月八日、広域消防本部で普通救命講習會が開かれました。成人コースの受講者は三十七人、二十代から七十代までの幅広い年齢層の人が参加しています。最初に、応急手当ての基礎知識などについて講義とビデオ上映が行われました。続いて、四班に



分かれ、救命手当ての一つである心肺蘇生法の実習を開始。一人ひとりが講師の指導を受けながら、真剣に取り組んでいました。